

浴槽水循環配管洗浄剤

バイオダッシュ W (A 剤・B 剤)

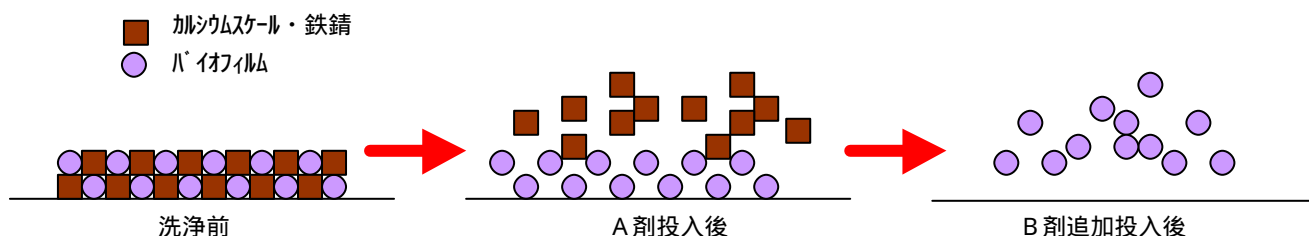
本品は入浴施設等の浴槽水循環配管やろ過機内に付着するスケールやバイオフィルムを除去し、レジオネラ属菌の繁殖防止する洗浄剤です。

1. 特長

- バイオフィルムの除去力に優れます。
- スケールや鉄錆を除去します。
- 塩素系薬剤のような悪臭を発生しません。
- PRTR 法に非該当です。
- 毒劇物品ではありません。

2. 作用機構

A 剤が強い浸透力とキレート力でカルシウムスケールや鉄錆を除去します。さらに B 剤を追加投入すると酸素が発生し発泡します。酸素の酸化力と発泡エネルギーによりバイオフィルムを除去します。



3. 使用方法

使用量

A 剤：浴槽水 1 t に対し 1 袋 (4 kg)

B 剤：浴槽水 1 t に対し 1 袋 (6 kg)

使用温度

40 ± 5 (冷水でも使用できますがお湯のほうが効果的です)

洗浄時間

A 剤による洗浄は約 30 分間

B 剤を追加投入後 60 ~ 90 分間

4. 洗浄作業手順

事前作業

浴室内の換気をします。

水量の調整をします。

洗浄剤の使用量を節約するため洗浄時は保有水量を減らします。ただし余り水位を下げるとポンプのエアロックが発生し易くなるので、吸い込み口より 30 cm 以上の水位は確保してください。

洗浄剤を準備します。

A 剤：保有水量 1 t に対し 1 袋 (4 kg) B 剤：保有水量 1 t に対し 1 袋 (6 kg)

例) 保有水量 2 t の場合は各 2 袋準備します。

ヘアーキャッチャーの清掃をします。

ストレーナーに付着物があればブラシ掛けして取り除きます。

ろ過機の逆洗をします。

浴槽水の水温を調整します。

浴槽水の水温は 40 前後が理想的です。

消泡剤を準備します。

A 剤投入

循環しながら A 剤を浴槽に投入します。

A 剤はしばらくすると溶けますが、攪拌すると一層早く溶けます。

約 30 分循環洗浄します。

カルシウムスケールが付着していると反応により発泡することがあります。

鉄錆が付着していると黄変します。

B 剤投入

循環しながら B 剤を追加投入します。

B 剤を投入すると洗浄液が発泡します。

B 剤はしばらくすると溶けますが、攪拌すると一層早く溶けます。

約 90 分循環洗浄します。

洗浄液は褐色に変わり汚れが水面に浮いてきます。

ポンプがエアーロックしたらポンプを止め、エアー抜きを行ってください。

排水・すすぎ

循環を止め洗浄液を排水します。

沈殿物は水道ホースで洗い流します。

お湯または水を張りろ過機の逆洗と約 15 分間すすぎ循環します。

上記 ~ の作業を汚れが出なくなるまで繰り返します。

汚れの程度で「排水・すすぎ」の回数は異なりますが、一般には 3 ~ 4 回行います。

事後処理

ヘアーキャッチャーの清掃をします。

お湯を張り循環し、汚れの出ないことを確認します。

作業場所の清掃をします。

5. 作業上の注意

発泡が激しい場合は消泡剤「クリアホームレス」を保有水量に対し 10 ~ 50 mg/? 投入してください。

連通管がある場合は、水位調整により洗浄液を強制的に連通管に通し洗浄してください。なお、水洗時にも同じ作業ですすぎ洗いしてください。

入浴剤（生薬タイプや PH の高いタイプ等）を使用している場合は清水に張り替えてから洗浄作業を行ってください。ろ材を長期間交換していない場合はろ材を交換するか取り出してから洗浄することをお勧めします。

珪藻土、カートリッジ式フィルター、微生物担持ろ材等を使用している場合は、ろ材を取り出すか、ろ過機を通さないうで洗浄してください。

カルシウムスケールが多量に付着する場合は、「クリアライト RK - 100」等で洗浄することをお勧めします。

6. 荷姿

A 剤 4 kg × 2 袋 + B 剤 6 kg × 2 袋（保有水量 2 t に対応）